

全国民間保育園経営研究懇話会

経営懇ニュース 12月号 (No.229)

2022年12月26日

162-0837 東京都新宿区納戸町 26-3 保育プラザ 3F Tel03-6265-3174 Fax03-6265-3184 gsp10404@nifty.com

経営懇役員リレーエッセイ

2022年を振り返って

東京・(福)多摩福祉会 向山保育園 安川信一郎

2022年も、はや師走。1年を振り返る時期になりました。

2022年の最大の出来事といえば、やはりロシアによるウクライナ侵略ではないでしょうか。軍事侵略は今も続いています。極寒のウクライナで暖をとることもままならず、幼い子どもたちを含め多くの市民の命が失われ、世界中に暗い影を落としています。力ではなく話し合いで解決できる国際社会をどうつくるのか。私たちに投げかけられた大きな課題です。

国内に目をむけると、止まらない物価高に悲鳴があがっています。ひとり親を支援する団体の調べによると9割の世帯が物価高騰による生活苦を感じているということです。

物価高騰に加え賃上げもかなわず、年金や医療、介護に負担増も重くのしかかります。

その一方で、岸田首相は大軍拡に大きく舵を切りました。5年以内に軍事費をGDP比2%にするように指示をしました。現在の2倍近い、およそ11兆円の大幅増額。財源として、東日本大震災からの復興特別所得税の仕組みの転用を検討しているとか。どこが、聞く力なのでしょう。

保育現場でも様々なことがおこりました。

認可外施設での死亡事故や通園バスでの置き去り死亡事件に続いて、静岡県裾野市の私立「さくら保育園」で耳を疑うような虐待が繰り返しておこなわれた事実が明らかになりました。元保育士3人が担当の1歳児におこなった数々の行為は信じられないものばかりでした。

バイNDERや丸めたゴザで頭をたたく、足をつかみ宙ぶりにする、カッターナイフを見せて脅す。寝た園児にたいして「ご臨終です」と言ったり、「プス」「デブ」などと暴言を浴びせたりなど、子どもたちの人格を破壊するような悪質な行為も報道されています。

もの言えぬ1歳児に虐待をおこなった3人の胸中には、どんな思いがよぎっていたのでしょうか。問題発覚後に退職した3人の保育士は暴行容疑で逮捕されました。

また同市は園長も隠ぺいを図ったとして刑事告発しました。虐待を知らながら口外しないよう職員に誓約書を書かせ、内部告発しようとした職員に土下座までしたといひます。

信頼して子どもを預けていたのに、わが子がこんな目にあっていたと知った保護者の思いは・・・。

情報が寄せられてから3ヶ月以上も公表しなかった市の対応もどうなのでしょう。

何故、このようなことが起きたのか、個人責任だけを問うのではなく、保育現場の実情を解明することが求められていると感じました。それとともに、職員と子どもの人権という視点から日々の保育についても考えあえたら…と、思っています。

そして、事件の背景にある日本の保育所の職員最低基準の劣悪さに目を向けその引き上げや、保育士処遇の改善を求めていく必要を強く感じています。

*「保育現場の虐待・不適切対応問題等を考える」(保育研究所主催のオンラインミニセミナー)が1月23日緊急開催されます(詳細は同封)。

保育をめぐる情勢

●2023 年予算案、閣議決定

政府は、12 月 23 日に、2023 年度予算案を閣議決定しました。この予算案が、1 月召集の通常国会に提出されます。

こども家庭庁予算案、増額はわずか…

2023 年 4 月からこども家庭庁が発足するのに合わせて、予算案はこども家庭庁予算として示されました。

こども家庭庁の予算案は 4 兆 8104 億円で、2022 年度（移管予定内容）と比べて、わずか 2.6% の増額です。一方、防衛費は過去最大の 6.8 兆円で 26.3% 増。けた違いです。

保育現場の負担軽減のため補助を拡充すると報道がされ、その内容が注目されていましたが、具体的には、「チーム保育推進加算」として、要件をみたす場合に、2 人までの加配が可能となる、とされ、所要額は 13 億円となっています。しかし、利用定員 121 人以上の施設で、平均経験年数 12 年以上等、対象が限られており、全体の底上げにはなっていません。新聞では、配置基準全体の見直しには 600 億円程度かかるため見送った、と報道されています（東京新聞 12 月 24 日付）。子ども関連予算倍増は言葉だけなのか？と疑わざるを得ない予算案といえます。

予算案が審議される通常国会に、現場の実態や要望を届ける運動が求められています。

●安全計画策定、来年 4 月より義務付け(認可保育所)

「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準等の一部を改正する省令」が公布され、2023

(令和 5) 年 4 月 1 日から施行されることとなりました。この「改正」の内容は、①児童福祉施設

等における児童の安全の確保に関する計画の策定等、②インクルーシブ保育、③児童福祉施設等における業務継続計画策定等の努力義務化、④保育所におけるみなし看護師等の配置に当たっての乳児の在籍人数要件の撤廃、です。

特に、①の安全の確保に関する計画（安全計画）は、4 月 1 日から策定が義務付けられました。すでに、計画策定について情報提供が始まっている自治体もあると思います。

こうした動きに対応しつつ、安全を確保するためには職員体制が不十分であることを、あらためて自治体に届けていく必要があります。自治体独自の補助の拡充や、職員増員ができるよう国に意見をあげてほしいといった要望を、園長会など複数の園でまとまって声をあげていくことが重要です。

各地の活動

コロナ禍でも学習を

各地で学習会情報第 2 弾

●愛知県下の保育園に呼びかけ学習会/あい共連

あいち保育共同連合会では、12 月 6 日に Zoom 学習会を開催しました。『子どもの権利保障と成長発達を基本にした保育政策への転換を目指して～「子どもに冷たい国」から「子どもにやさしい国」にむけて』をテーマに、大阪保育運動連絡会の岩狭匡志さんにお話をいただきました。

とりくみの経過

9 月にあい共連で学習会を計画し、チラシを作成、愛知県下すべての保育園・認定こども園（719 通）と、東海北陸経営懇加盟園（あい共連以外 40 通）にチラシを郵送しました。こうした宣伝の結

果、愛知県下の一般園からも 6 名の参加があり、全体で 69 名の参加となりました。

学習会の内容・感想など

学習会では、保育現場の厳しさの背景を探り、子どもにやさしい社会に大転換していくことが求められている、自分たちが動くことで変化が生まれること等を、お話いただきました。

参加者から、「保育士の配置基準が変わらず、現場は日々大変な状況に追い込まれています。それに加え、コロナの状況もあり、職員が体調不良

で急な休暇も入る中日々の保育をつくることでいっぱいいっぱいな状況ではありますが目の前の事だけにとらわれず、広い視野をもって考える視点をもっと考えなくては、と感じた学習会でした」、「“保育の質が向上すれば子どもの将来の可能性がひろがる”という言葉は光です。重大事故も、保育園での虐待もなくしていくためにも、保育者も保護者と一緒にもっと怒って声を上げていきたい」といった感想が寄せられています。

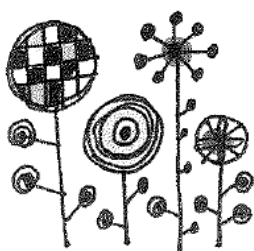
職員配置基準アンケートのお願い

現在の配置基準では、子どもの発達と安全を保障できない状況が明らかになってきました。

そこで、現場のみなさんが求める職員配置基準のアンケートを実施、国や自治体に要望していきたいと思います。

ぜひご協力ください。

アンケート受付期間は、2023年1月8日～31日です。



今こそ
私たちの声を届けよう!!

保育現場が求める
保育園における**子どもの発達**や**安全**を保障した
職員配置基準アンケートのお願い

小学校では、35人学級が実施されはじめ中学校まで少人数学級を拡大する方針が決まっています。
しかし、保育園の配置基準は4・5歳児は70年、1・2歳児は50年、0歳児も20年以上も変わっておらず、乳幼児期の子どもの発達と安全を保障する基準ではありません。
そこで、保育現場のみなさんが求める職員配置基準のアンケートを実施し、**国や自治体へ「職員配置基準の改善を求める」要望をしていきたいと思**います。
このアンケートは、みなさまのお知り合いの保育関係者へもぜひ拡散していただきたいと思います。
ご協力をお願いいたします。

アンケートはこちらから

- パソコンまたはスマートフォンなどから下記のURLかQRコードからアクセスしてお答えください。
- アンケートは10分程度で回答できます。
- アンケートはお一人様一回でお願いします。

<https://forms.gle/CwUBxWb3QNkt2pu29>

アンケート受付期間
2023年
1/8(日)
～
1/31(火)

【お問い合わせ】
全国民間保育園経営研究懇話会(略称：全国経営懇)
〒162-0837 東京都新宿区納戸町26-3保育プラザ3F
TEL 03-6265-3174 FAX 03-6265-3184

<QRコード>

お知らせ

●第42回経営研究セミナー お申込み、ありがとうございます した

第42回経営研究セミナーは、参加者が500名を超えました。このニュースが届く時点では、申込締切が過ぎていますので申込みいただけませんが、内容は、今後のニュース等でお知らせいたします。

●リモート学習会「幼保小の架け橋プログラムの問題点と私たちの保育」(仮)

2023年2月15日13:30~15:30で、架け橋プログラムのリモート学習会を行います。講師は長崎大学の脇信明さんです。

案内チラシを同封します。参加費は無料です。お気軽にご参加ください。

●合研報告集、発行

今年8月に高知で開催された第54回合研の報告集が発行されました。民間保育園の運営と経営の分科会報告も掲載されています。



追加注文受付中です。

【経営懇・活動日誌】12月

○12月5日(月)役員会。セミナーに向けた参加組織や当日の運営について検討。

○12月11日(日)第55回合研集会の全国実行委員会立ち上げ。

○12月15日(木)セミナーに向けて旅行社とうちあわせ(事務局)

○12月26日(月)セミナー運営に向けた臨時役員会。

○12月23~27日

分科会ごとに、提案者・司会者・担当役員・ホスト等で集まり、Zoomでの打ち合わせを実施。

○12月23~27日

セミナー参加者に送付する資料印刷・発送準備。

○12月28日(水)セミナー参加者に資料送付。

同封資料

①2023年度予算案より

「チーム保育推進加算の充実」の該当箇所のページを同封します。

予算案は1月召集の通常国会で審議されます。

②リモート学習会等ご案内

1~2月にかけて開催されるリモート学習会のご案内をお送りします。録画配信も活用し、学びましょう。

来年も子どもたちのために！
2022年お疲れさまでした。

